

# 下諏訪第三野球部 伝説の部員

富ヶ丘 武井 雅樹



こんにちは！  
私は、下諏訪町の小中学校の野球会に関わる者で、日頃からいろんなチームの試合を見る機会があります。

下諏訪町には、下諏訪第三野球部という、中学生の軟式野球部があります。それは、週末・土日などに、下諏訪中学校野球部と下諏訪中学校野球部からメンバーが集まり、社会体育として活動する野球部です。彼らは、人とすれ違くと、何度でもあいさつしてくれます。町民の皆さんも、紫のグラウンドコートと帽子のいでたちの中学生に、大きな声で「こんにちは！」と、

一度はあいさつをされたことがあるでしょう。現在は十四、十五、十六期生が活躍しています。

さて、この春卒部をした部員の中に、伝説の部員『O・T君』がいました。

彼は、決して足は速くなく、上手でもなく、でも、とにかく一生懸命な子でした。ファーストを守っていた彼は、いつも、絶対に取れそうにないボールでも食らいつき、飛び込んでいま



した。ボールはいつも彼の五メートル前に落ちていましたが、絶対にあきらめないのです。だから、ユニフォームはいつも真っ黒でした。

そんな彼が、一つの伝説を作ったのが、三年生にとっては最後の夏の大会と言われる「諏訪湖少年野球選手権大会」でした。大会は決勝を迎えていました。

この日も彼は、取れないボールに食らいついでいました。試合も進み、五回の裏、一アウト、二塁三塁、O・T君は三塁ランナー、バッターの打球はレフトフライ。当たりにつられて離塁してしまつたO・T君に左翼手が送球、それが反れた時、彼は三塁からホームに突進して来たのです。誰もが「ああ、まずい！アウトになる……！」と思つた瞬間、O・T君はホームベースにヘッドスライディング、手を突っ込むと同時に、球審に向かって「手が先い！」と絶叫しました。球審はよく見ていてくれました。「セーフ……セーフ！」とジャッジが下り、一点

をもぎ取りました。続いて第三野球部らしくもう一点取り、二対〇で優勝しました。

バックネット裏で見ていたあの保護者は、この決勝でO・T君が、取れない球に必死の形相で食らいつき、飛び込む姿を見た時点で、勝ちを確信していたそうです。

彼は、周りの部員を行動で束ねる力を持っています。第三野球部は毎年、卒部生を送る会を行います。彼はその時コートから、「O・Tよ、本当の本物の力持ちになれ」という言葉が贈られました。



彼は今年、諏訪地方の高校に入学し、硬式野球部に入ったそうです。もちろんレギュラーではありません。でも、ここでも一生懸命。  
今年の五月に大会があり、強豪チームと対戦した折、試合前の公式練習で彼は、レギュラーの先輩たちの後ろで、一生懸命に球拾いをしていたそうです。  
試合終了後、相手校のある保護者さんが関係者にこう言ったそうです。  
「誰だかわからないが、一生懸命に球拾いをする子がいて、緑の下の力持ちの姿に、感動して涙が出たよ。」  
結果は、その試合は勝ち、県大会に出場したそうです。私は、O・T君の第二の伝説が始まったと思えました。  
第三野球部には、県内外の強豪チームから、いつも対戦のオファーが来ます。  
なぜなのか。それは、本当の意味での中学生らしい野球を目指しているこのチームとぜひ戦いたい、自分のチームにその姿

を見せたいから、というのです。私は、この第三野球部を、「下諏訪町の宝」だと思っています。これから見守り、そして応援していきたいです。『勝っても負けても一生懸命』……。



## 読書推進ポスターの紹介

下諏訪町 読書は益かですむちかか

町内一斉家庭読書の日 7/12・8/9・9/13 (第2日曜日)

……子ども大人も本に親しむ日……

石仏の心にこぼれ 読みかじり

下諏訪町小中学校PTA・諏訪湖町読書会 読書推進委員会 青少年健全育成協議会

山河草木に書物を伝えよう。 下諏訪町

町内一斉家庭読書の日 4/12・5/10・6/14 (第2日曜日)

……子ども大人も本に親しむ日……

石仏の心にこぼれ 読みかじり

下諏訪町小中学校PTA・諏訪湖町読書会 読書推進委員会 青少年健全育成協議会